広報美濃加茂市

発行所　美濃加茂市役所
編集人　秘書課長　小藤榮

印鑑証明料等が改正

四月一日より印鑑証明等諸証明の手数料が、各市の状況等により現行の三千円より、五千円に改正になります。

理想的田園都市に積極的な重要案件を可決

新年度予算決まる

総額252,804,000円

第一回定例市議会終る

市民福祉の増進と市勢繁栄のため、注目を浴びていた昭和三十四年度新予算等を二十四件を審議する第一回定例市議会は三月九日より会期三日間に亘って慎重な審議を続け、十一日の本会議で原案通り可決閉会した。

特に健全財政の推進と共に、市民負担の軽減を図りながら、東部中学校建設、国民健康保険の実施、市庁舎建設準備等、諸施策を盛り、市民の信頼にこたえた新年度予算総額は二億五千二百八十万四千円で、昨年当初に比べて三千八百四十三万九千円の増になっているが、以下議会の模様と新年度予算等の諸議案の概要について

—本会議第一日—

三月九日午前十時開会し議員諸氏より提案の通りの報告があった。

『本会議は、今任期中最後の議会であり、昭和三十年の市制施行後初めての議員選挙によって、市民の信頼を得らるべきより市を挙する重大時局と、開催ある御協力による新年度予算を審議し、第一次建設計画原案の実施を期待し、市政の地盤なる基盤を確立し、市勢伸張第一段階の重要な時期に入りました。ここに議員の皆様に深甚なる感謝と敬意を表します。皆様にも、さぞ深い感慨と、思い出多き事と御推察申しあげると共に、祈念御自愛と御精進を願い、今後ともより市政に積極的な御協力を賜わらんことを切に願います。

特に新年度予算を始め新市制形成の重要な諸案件について、慎重御審議を願いまして、本市会提案諸議会の良案の美を飾られますよう御願いする。』

との挨拶があり、任期中最後の議会に当り、議員各位への感謝の言葉が切々と述べられ、議長は一息置いて、過ぎし四年間の道程に感無量の面持であった。議案は一部第一次建設計画の完成により繰延された諸事業が切々と述べられ、並びに昭和三十二年度一般・特別会計の決算認定を承認した。

—第二日目休会—

—第三日目—

昭和三十四年度一般・特別会計予算と、これに関連した起債一時借入の諸議案及び中学校統合について慎重に審議され、就れも原案通り可決し、最終議会の日を閉じた。以下主な議案について概要を紹介する。

主な議案

▽昭和三十四年度一般・特別会計予算

▽中学校統合について

▽美濃加茂市名誉市民条例設定

▽美濃加茂市国民健康保険条例設定

▽昭和三十三年度一般会計及び、上水道特別会計の過年度決算

▽昭和三十一年度一般特別会計決算の認定等

「投資的建設経費大巾に増大」

市発足五年間において第一次建設計画の完成により繰延された諸事業の田園都市体制のもとに、建設計画再調整後における重要な施設が強力に進められる新年度予算が運用されることになった。

▽一般会計の総額は、一億七千五百八万九千円で昨年度よりの二千一百八十八円の増

▽特別会計では総額七千七百七十一万五千円で昨年度よりの三千五百五十五万八千円の増

とのように総額二億五千二百八十万四千円の新予算が編成し、前年度当初予算より五千九百四十三万九千円の増額となっている。

「健全財政の推進と市税13%以上の引下」

地方公共団体の財政が極度に困難して、建設的諸事業が抑制されている折にも、かかわらず、健全財政を維持するとともに、市勢伸展第一段階として、積極的な諸事業を遂行すると共に、市民負担の軽減が図られ、基礎調査現行八七、〇〇〇円を、九万円に引上げると共に、所得税減税が、現在八段階であるのを、十七段階に細分して減税を図り、実質十三%から十五%程度の引下げをすることになった。例えば、課税標準額十五万円の場合、現行の税額で、四、七二〇円であるのが、昭和三十四年度より四、一二〇円となって六四〇円少くなり二三・五%の減税率となるなど、大巾に市民負担の軽減が図られた。又防災負担の軽減が図られると共に、公共事業費の引下げ等も、図られることとなった。

「重要な新規事業を拡充」

第一次建設計画の完了と共に、新都市形成に真に重要な時期として、市民福祉増進して、誠実に、有為な体制のなかに、市政百年の大計を図る重要事業を盛りこんだ総合予算として、慎重な審議をつづけられて、原案通り可決された。明るく、住みよい明日の美濃加茂市実現のために、本年度の諸事業の推進と共に、特に新たな重要事業は、

オ一　東部統合中学の整備事業

オ二　国民健康保険の実施

オ三　市庁舎建設事業

〃四　市内高校教育の向上（農林高校独立）

オ五　職業訓練所の新築

等であり、主な予算科目をみると次の通りである。

「一般会計」

総務費

新庁舎建設調査費　一〇〇千円
消防費　一、四〇〇千円
自動車整備所新築事業　八七〇千円（可搬式ポンプ及び消火栓）
土木費
市道新橋新設改良事業　四、〇〇〇千円
道路橋梁維持修繕費　一、四〇〇千円
教育費
義務中学校施設新築備品積立金　二九、九六三千円
加茂高校新築備品積立金　八三〇千円
給食施設費　二六〇千円
学要保護児童生徒給食費　八〇三千円
社会及労働施設費
生活保護費　一〇、五三〇千円
身体障害者福祉費　二五五千円
私立公立保育所補助費　九、六〇〇千円
失業対策事業費　一、二二一千円
職業訓練費　三五七千円
保健衛生費
防疫対策費　一、四七五千円
公衆衛生費　一一〇千円
伝染病予防費　三五四千円
結核予防費　六二二千円
農業経済費
加茂農林高校独立整備積立金　二〇〇〇千円
市単独農地改良事業費（一般・急傾斜・客土・暗渠）　一九六〇千円
農業経済近代化資金事業費　六三〇千円
市単独農業振興対策事業費（畜産振興）　二三〇千円
市単独農業振興対策事業費　一〇〇千円
商工業費
商工業振興対策費　四五〇千円
中小企業対策費　六〇五千円
工業誘致費　二八〇千円
観光事業費
市内各観光施設備費金積立金　三、〇〇〇千円
—特別会計—
国民健康保険
保健給付費　一二、三四〇千円
上水道
主体工事費　五〇、〇〇〇千円（尚才入七七三千円昨年度上水道使用料六、〇〇〇千円）

「投票について」

皆様のお手元へお配りしました入場券に記載されています。投票は午前七時から午後六時までの間に入場券を持参して投票を行って下さい。若し受取った入場券を紛失しても投票は出来ます。その場合は、投票所でその旨を申して下さい。

代理投票

身体の故障や、文盲の為、自分で候補者の名前が書けない人でも当日投票所へ行って、その旨を申し出していただけば代理投票が出来ます。この代理投票というのは、投票所の係員が、その本人に代って候補者の氏名を書き係員に秘密を守りますから安心して申し出て下さい。

不在者投票

投票の当日、職務や業務のため市外へでかけているとか、用務で市外に旅行や出張しなければならない人、また病気、負傷、不具者の方は、投票所に行って、その旨を申し出ていただけば、投票用紙を渡します。

「三月二十九日です」

市議会議員選挙の投票日

市議会議員選挙の投票日は三月二十九日です。選挙は住民の意志を政治に反映させる重要な権利です。ましてこの選挙は私達の身近につながる市長選挙に次ぐ重要なものです。私達の生活を楽しくするのも、苦しくするのも、あなたの一票にかかっています。

全市民が正しい人を選ぶことによって、よい市政が行われ、ほんとうに私達に乗せが訪れ、市勢がより繁栄するように、よく考えてみんな揃って清き一票を投票しましょう。

「よく選ぶ明日の市政をまかす人」

期日前投票について

姫駅または遠部にあるため、歩行が著しく困難で当日投票所へゆけない方などは、それぞれ所要の証明がなれば投票日の前日まで、毎日午前八時半から午後五時までに市役所選挙管理委員会か本人の属する連絡所にて手続をして投票して下さい。

選挙期日について

三月二十九日選挙期日の前日が行われ、三月二十四日を以って立候補の締切られた三月二十九日に投票が行われる。

開票は即日各選挙区で

当日の開票は当日午後七時より各選挙区毎に次の通所にて行われる。

太田選挙区……太田公民館
古井々……古井中学校講堂
山之上々……山之上公民館
蜂屋々……蜂屋公民館
加茂野々……加茂野連絡所
伊深々……伊深連絡所
三和々……三和連絡所
下米田々……下米田連絡所

尚、若し二十四日締切り日までに立候補者が定員数であった場合は無投票となり二十九日の選挙によって当選確定となる。

尚当日に有権者数を上げました。

市長　渡辺榮一

市政百年の大計を図る健全財政のもと投資的経費の拡大

今度の市政全方向付ける昭和三十四年度予算審議を終り、特に昭和三十三年三月市勢発足始めて三万市民の信頼のもとに、市議会議員として、市政の地盤なる各般の事業を遂行して、郷土新市として、自治行政資料を受け市勢発展の強固な基盤を確立し、第一段の飛躍発展の途上に本市が今日あるのは、議員各位の御協力に負う処大であり、任期中最終議会において本市の前途の光輝に満ちた新年度予算の御提案を致し、官民の協力を切に願い、その成果を上げて参りましたが、新年度予算においては、市制実施及び行政機構の改革により、市政サービスの拡充等を図り、代表市として、市政百年の大計を図る、特に名古屋・富山間一般国道整備、市制施行後の改革に伴う職員定数の改正、市税百年の大計を図る健全財政の確立、つぐ大きな市勢発展の年であります。

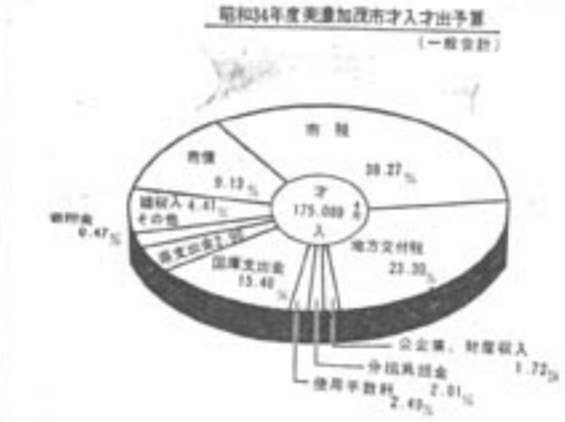
私はこれら諸般の条件に基いて特に新年度の新規事業として、

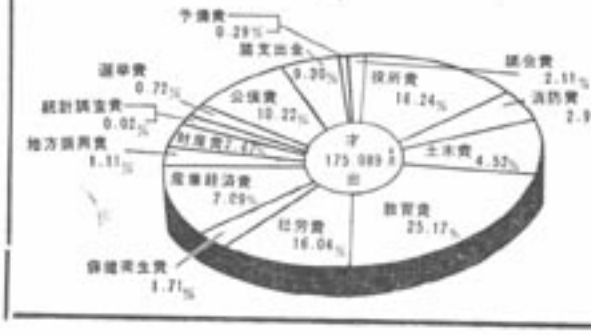
オ一　東部統合中学の実現、国民健康保険の実施、市庁舎建設事業、市内高校教育の向上、職業訓練所の新築

オ二　市内高校教育の向上

オ三　職業訓練所の新築

等であり、主な予算科目をみると





東部中學校一部
九月一日から発足

郡部組合立古井中学校、下米田中学校及び山之上中学校の三校を統合し美濃加茂市立（仮称）東部中学校の建設について検討に際議を進められていたが、今議会において、次の通り議決され愈々九月一日より発足し、学校経営の合理化、教育水準の向上と、施設の充実、施設設備の拡充が強化されることになった。

位置は上古井地内に敷地三万三千平方メートルで三十四年度より三十六年までの三ヶ年間に総工費七千五百十五万円で、鉄筋校舎、教職員住宅は三千七十万円を費て三十四年度より建設されることになり本年九月一日より古井中と下米田中が統合され、三十年度内に山之上中を統合するよう諸準備が進められることになった。

国民健康保険 四月一日より実施を待つ

社会福祉の重要な柱の一である国民健康保険条例の設定が議決され、年内に市内の全面施行を目指し、市内の全面施行を目指し、市内の全面施行を目指し、